

1 町田消防署管内の火災状況

(1) 火災件数は11月15日現在で102件発生しており、昨年より14件多く発生している状況です。

火災原因は昨年同様の右上写真のような電気機器等による火災が増えています。これはコロナ禍で外出を控え、家庭内での生活スタイルが定着したことで、電化製品の使用頻度が増えたことが原因の一つと考えられます。また、右下写真のような**充電式リチウムイオンバッテリーからの火災が増えています**。こまめな点検や清掃、取り扱い説明書に従った正しい使用に留意いただくようお願いいたします。

(2) 12月から火災多発期に入ります。空気が乾燥するなど、火災が発生しやすい気象条件となります。今一度、火気の取り扱いには十分注意するようお願いいたします。

2 家具類の転倒防止対策

令和3年10月6日(水)岩手県沖を震源とする地震で青森県階上町で震度5強を観測、同月7日(木)千葉県北西部を震源とする地震が発生し足立区で震度5強を観測しており、町田市の一部地域で震度5弱の強い揺れを観測しました。この地震の揺れにより青森市や横浜市ではタンスや本棚が倒れ複数のケガ人が発生しました。

近年発生した地震で怪我をした原因を調べると、約30%~50%の人が、家具類の転倒・落下・移動によるものです。

ご家族の負傷、火災の発生、避難障害の発生を防ぐためには、家具類の転倒・落下・移動防止対策が非常に大切です。

詳しくは、東京消防庁HPにある右図の家具転倒対策ページをご覧ください。



電気ストーブ

電気コンロ

テーブルタップ

発火した充電式製品



3 餅などによる窒息事故に注意

毎年12月から1月にかけて餅などによる**窒息事故**が多くなります。特に**高齢者**(65歳以上)の事故が多く、約9割を占めています。

餅などによる事故を防ぐポイント

- ① 餅は小さく切って、食べやすい大きさにしましょう。
- ② 急いで飲み込まず、ゆっくりと噛んでから飲み込みましょう。
- ③ 乳幼児や高齢者と一緒に食事をする際は、適時食事の様子を見たり注意を払うよう心がけましょう。
- ④ 餅を食べる前に、先にお茶や汁物を飲んで喉を潤しておきましょう。
- ⑤ いざという時に備え、応急手当の方法をよく理解しておきましょう。

窒息の応急手当ってどうやるの？



動画はこちら
から
ご覧いただけます。



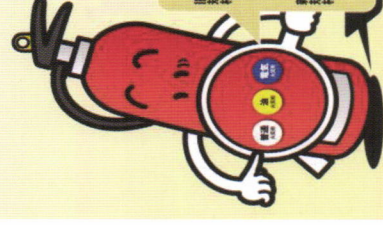
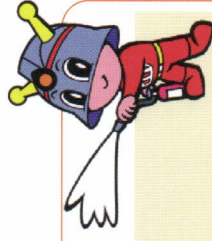
4 新規格消火器のお知らせ

消防法令に基づいて設置されている旧規格消火器は2021年12月31日までに交換が必要と言われています。

詳細は下記の間合せ先にお問い合わせください。

間合せ先
一般財団法人日本消火器工業
会

TEL: 03-3866-6258
FAX: 03-3864-5265
www.jfema.or.jp



してますか？

家具類の転倒・落下・移動防止対策



対策の方法は、東京消防庁ホームページに掲載されている「家具類の転倒・落下・移動防止対策ハンドブック」を参考にしてください。

東京消防 検索

東京消防庁